

世界で苦しむ人々を助けるために — 飢餓や貧困が与える影響について —

熊本県立大津高等学校 1年 社会福祉ゼミ

1 研究の概要

動機・貧困や飢餓で苦しんでいる人々を助けたいと思った。

目的・貧困や飢餓で苦しむ人々が世界にどれだけのいるのか、どのような活動をすれば助けることができるのか、などを明らかにする。

仮説・貧困や飢餓で苦しむ人々はおそらく10億人ぐらいいると考えられる。

今のままでは、これからもっと増えていくと考えられる。

2 方法

世界に苦しむ人々がどれくらいいるのか、どうすれば助けることができるのかをインターネットで調べる。

9歳～18歳の14か国の子どもたちを対象に、世界に影響を与える主な問題として心配していることや世界のリーダーに最も対策を取ってほしい問題など、子どもたちの意見を聞く。

3 結果

世界の飢餓人口の増加は続いていて、現在8億2100万人、9人に1人が飢えに苦しんでいることが分かった。世界の子ども若者に影響を与える問題に対し、あなたはどれくらい心配していますか？

(出典 : <https://www.unicef.or.jp/wcd/voice/>)



主な問題として挙げられた11のテーマの中で、世界のリーダーに最も対策を取ってほしい問題は？結果はこのようになった。

(出典 : <https://www.unicef.or.jp/wcd/voice/>)



4 考察

上記の結果を受けて、貧困や飢餓は世界で問題となっており、世界中の人たちが心配や不安を抱えている。

貧困や飢餓は自然災害で農作物や田畑が被害を受け、家や仕事などの生活基盤が失われることから発生することが分かった。

5 今後の展望

貧困や飢餓で苦しむ人々をどうすれば救えるのかなど、研究しきれてない部分があった。インターネットだけでなく、本なども使ってもらって詳しい研究をしたい。

6 参考文献

公益財団法人 日本ユニセフ協会

<https://www.unicef.or.jp/news/2018/0151.htm>

<https://www.unicef.or.jp/wcd/voice/>

<https://www.worldvision.jp/children/poverty>